

『デフ・ヴォイス』（6月16日配信）

こんにちは、戸田です。よろしくお願いします。

今日はデフ・ヴォイスについてお話しします。もうみなさんご存じですよ。以前、テレビドラマで草薙剛さんが主演で放送されました。手話通訳士役でしたね。ほかにもろう者役にはろう者役や難聴者を起用し注目されたドラマです。あのデフ・ヴォイスです。

ドラマには、原作の小説があります。この小説をもとに映像化しました。実は、デフ・ヴォイスの書籍は現在、1・2・3・4と続いています。タイトルは、デフ・ヴォイスではないですが、内容的に続編として出版されています。私も1～4を購入し楽しく読ませていただきました。

今、デフ・ヴォイス5が執筆されています。書籍化はまだ発行されておらず、2ヶ月に1回だったと思いますが、発行されている冊子にデフ・ヴォイス5の連載が始まりました。連載がすべて終わると書籍化され発売されるのだと思います。楽しみです。

で、そのデフ・ヴォイス5の連載が載っている冊子を購入し読みました。ろう学校が出てくるのですが、もちろん架空のろう学校です。その架空のろう学校をみて度肝を抜かれました。なんとそのろう学校の名称が、こちらです。埼玉県立特別支援学校朝霞ろう学園と書かれていたのです。とても驚きました。特に何かを聞かれてあわけでもありませんし、使用することを知りませんでした。作者の丸山正樹さんが朝霞ろう学園と名づけました。実際、埼玉県内には、坂戸、大宮の2校のろう学校があります。実在するろう学校名を使用するわけにはいけないので、架空の名称を考えた際に、朝霞とつけたのだと思います。とてもうれしいです。朝霞を採用していただいたのはおそらく、朝霞市日本手話言語条例があり、日本で唯一、日本手話は言語であることを明確に打ち出しているからだろうと思っています。読んでみると、朝霞ろう学園は、小学部から日本手話を使用して教える学校として登場します。朝霞市日本手話言語条例を受けて採用していただけたのかなと、非常にうれしく、感謝しています。いやー、誇れますね。